
平成29年度事業計画

【基本方針】

- 平成28年度に取り組んだ5つの事業について、これらの事業成果を踏まえて引き続き取り組む。
 - ① 旅行会社や大型団体への営業活動に加え、テレビ、雑誌などマスメディアへの営業活動を展開し、個人旅行者（消費者）への訴求を強化する「**県外誘客プロモーション事業**」
 - ② 今後の伸びが期待できる教育旅行、MICE、女性旅マーケットなどの分野における顧客ニーズの把握に努め、満足度の高い商品提案を行い、誘客に取り組む「**新市場開拓推進事業**」
 - ③ 食を活用した観光の促進、地域資源を活かした着地型観光の推進などにより、魅力的な受地づくりを一層推進する「**受地整備推進事業**」
 - ④ 観光産業や観光振興を担う人材の育成に取り組む「**人材育成事業**」
 - ⑤ 会員などの意向を運営に反映させ、相互に協力して観光振興に取り組むために行う「**情報収集・提供事業**」

【取組の視点】

- 本県において、観光を取り巻く動きが新たにあり、これらと連動し効果的に事業に取り組む。
 - ① 映画「たたら侍」の全国公開（H29.5月）
 - ② 石見銀山世界遺産登録10周年（H29.7月）
 - ③ 萩・石見空港二便化継続に向けた利用促進
 - ④ JTB「日本の旬 瀬戸内・山陰」（H30.4～9月）
 - ⑤ JRグループ「山陰デスティネーションキャンペーン」（H30.7～9月）
- 島根県や広域観光推進組織との役割分担と連携のもと、専任職員を配置している強み（「専門性」・「継続性」）を最大限に活かして活動する。
- 施策の推進にあたっては、ターゲット及び数値目標をより明確に設定し、結果の検証を行うPDCAを進めていく。

※（ ）内は、平成28年度予算（補正後）

1 県外誘客プロモーション事業

県外から観光客を誘致するため、営業・宣伝ツールを作成して旅行会社へ営業活動を行うとともに、しまね観光大使等を活用してイベント等でPR活動を行う。また、テレビ・雑誌等マスメディアへの観光情報掲載を促進するため、取材対応やメディアセールスを強化する。

(1) 営業・宣伝活動事業 3,000千円(3,000千円)

県外の旅行会社・マスメディア等への営業活動や宣伝イベントへの参加、各種会議への出席、取材対応等を行う。

- ・県外の旅行会社へ旅行商品造成、大型団体誘致に向けての営業活動
- ・県外の旅行会社店頭での宣伝、営業キャラバンの実施
- ・県外イベントへの参加（ツーリズムEXPO、島根ふるさとフェア等）
- ・各種会議への参加（DW、県主催観光情報説明会等）
- ・マスメディアの取材協力
- ・マスメディアへの観光情報掲載促進営業

| マスメディア掲載目標 | 件数 | 広告効果 |
|------------|-----|----------|
| 平成29年度 | 20件 | 18,372千円 |
| 平成30年度 | 24件 | 22,046千円 |
| 平成31年度 | 29件 | 26,455千円 |

※広告効果は、NHKとWEBを除く

(2) 旅行会社商品造成支援事業 11,700千円(23,320千円) (県補助10/10)

旅行会社の旅行商品造成経費に対する支援を行い、誘客を促進する。また、旅行会社を通じて北海道などの新しい市場の開拓を行う。

- ・個人型旅行商品のパンフレット等造成経費の一部を助成（補助率1/2）
- ・北海道や東北などターゲットを絞ったエリアにおける団体バス助成
- ・米子空港～隠岐へのアクセス向上のため、空港から境港、七類港へのタクシー代を助成

| 単独パンフレット商品の造成目標 | | |
|-----------------|-----|---------|
| 【出雲地区商品】 | 商品数 | 送客人数 |
| 平成29年度 | 30個 | 24,000人 |
| 平成30年度 | 30個 | 24,000人 |
| 平成31年度 | 30個 | 24,000人 |
| 【隠岐地区商品】 | | |
| 平成29年度 | 3個 | 1,500人 |
| 平成30年度 | 4個 | 1,700人 |
| 平成31年度 | 5個 | 2,000人 |

(3) 石見銀山世界遺産登録10周年活用事業 **新** 4,500千円 (県補助10/10)

世界遺産登録10周年の節目にあたり、石見銀山を含めた周遊旅行の促進を図る。

- ・レンタカーを活用した個人型周遊商品の造成
- ・石見銀山を含んだ島根県内広域エリアでの旅行会社視察ツアーを実施

(4) 観光情報説明会開催事業 2,000千円 (3,000千円) (県補助10/10)

県外の旅行会社を対象として、旅行商品素材や観光情報についての説明会・意見交換会を開催する。なお、県との役割分担を踏まえ、観光連盟はより実務的な説明会を主として実施する。

- ・主要都市で旅行会社を対象とした説明会、意見交換会を開催 (東京、大阪等)

(5) 情報発信ツール作成事業 11,661 (14,537千円) (県補助6,500千円)

旅行会社への営業・情報発信ツールとなる素材集や観光宣伝ツールとしてのリーフレット、ポスター等を作成する。また、島根県観光キャラクター「しまねっこ」を活用したPRを行う。

- ・旅行会社向け観光素材集「旅の縁」の作成
- ・「しまねっこアートマスク」等、旅行商品で活用する誘客ツールの作成
- ・島根県観光キャラクター「しまねっこ」の商標管理及び利用促進を通じた認知度アップ
- ・公式サイト「しまねっこの部屋」の管理運営やPRツールの作成
- ・各種宣伝リーフレット等を作成して情報発信を実施
- ・近隣県と連携した誘客ツールを作成

(6) 誘客ネットワーク支援事業 1,500千円 (1,500千円)

組織的かつ継続的に県外への誘客活動を行う民間事業者組織等の営業・情報発信力を最大限に活かすため、現場に入って支援・連携を強化する。

- ・民間事業者組織による旅行会社等への営業活動を支援
- ・民間事業者組織による受地づくりや情報発信の支援

(7) 観光大使活用事業 700千円 (2,200千円)

しまね観光大使を観光イベントやマスコミ訪問等に派遣し、島根のPRを図る。また、「島根観光ナビ」における観光地紹介などの活動も展開する。

(8) 萩・石見空港を活用した誘客促進事業 35,000千円 (21,850千円) (県補助10/10)

萩・石見空港の東京路線2便化継続に向けて、受地整備を行いながら更なる利用促進を図る。従来の個人型の観光客の誘客に加え、受注型企画旅行団体による利用促進を図る。

- ・「石見の神楽めし」の活用
- ・「石見温泉手形」に石見神楽鑑賞券等に加え、「石見ぶらり手形」にバージョンアップ
- ・個人観光客の誘客促進強化に向けて、リアルエージェント、ネットエージェント等による販売チャネルを増加
- ・受注型企画旅行団体による利用促進を新たに実施

| 平成29年度 羽田空港～萩・石見空港路線 | 販売目標 |
|----------------------|--------|
| ①東京地区販売 個人旅行、DP、WEB | 7,100席 |
| ②東京地区販売 受注型企画旅行団体 | 1,600席 |

2 新市場開拓推進事業

教育旅行やMICE、女性旅マーケットなど、本県にとって今後の誘客が期待できる分野についての取組を継続して実施する。

(1) MICE誘致事業 4,500千円(5,000千円) (県補助10/10)

企業の報奨旅行や研修旅行、会議を伴う旅行等の誘致を促進する。特に、生命保険会社など報奨旅行を行う業界に対して積極的な営業を行う。

- ・旅行会社の法人営業部門への営業展開
- ・福利厚生代行企業と連携して研修旅行等を誘致
- ・ユニークベニューでのパーティープランや企業向け研修プラン、行政視察候補地等のPR
- ・MICE団体「おもてなし」キャンペーンのPR及び実施
- ・島根県MICE等団体旅行企画&素材集の改訂

MICE団体「おもてなし」キャンペーン適用団体 誘致目標

| | 件数 | 宿泊人数 |
|--------|-----|---------|
| 平成29年度 | 17件 | 2,100人泊 |
| 平成30年度 | 20件 | 2,500人泊 |
| 平成31年度 | 24件 | 2,900人泊 |

(2) 教育旅行等誘致事業 7,500千円(8,000千円) (県補助10/10)

事前学習ワークシートや旅行会社に対する助成制度をPRし、中学・高校を中心とした教育旅行の誘致を促進する。特に、平和学習や世界遺産で多くの修学旅行生を集めている広島を含んだコースをモデルとして提案し、誘致を図る。

- ・学校関係者や旅行会社を対象とした教育旅行素材説明会の開催(東京、名古屋)
- ・学校関係者や旅行会社担当者を招致し、視察研修を実施
- ・宿泊施設等に対するマーケット情報等の提供
- ・体験活動や民泊の取り組み支援
- ・島根県教育旅行素材集の改訂
- ・島根県修学旅行助成制度の周知、適用

島根県修学旅行助成制度の適用団体 誘致目標

| | 学校数 | 宿泊人数 |
|--------|-----|---------|
| 平成29年度 | 22校 | 4,400人泊 |
| 平成30年度 | 25校 | 5,000人泊 |
| 平成31年度 | 28校 | 5,600人泊 |

(3) 女性旅マーケット開拓整備事業 2,000千円(2,000千円)

観光マーケットをリードする「女性」のニーズを把握し、女性の視点での魅力づくりを進める。特に、(株)ポーラが実施する「美肌県グランプリ」で島根県が4年連続日本一となったことを活かして、「しまね=美肌」のイメージを定着させる取り組みを進め、アラフォー世代

を中心とした女性観光客の誘致促進を図る。

- ・しまね観光ナビ『美肌特集ページ「私だけの美肌旅」』の情報更新と旅プランの活用
- ・美肌県PRリーフレットの改訂
- ・県内女子会との連携による「しまね欲張り図鑑」の運営

3 受地整備推進事業

地域の資源を活かした魅力的な受地づくりを行うとともに、着地型観光を推進する。

(1) ガイドツーリズム促進事業 200千円(200千円)

島根県内で観光ガイド活動を行っている団体・個人の情報発信を行う。また、「出雲神話語り部の会」に所属するガイドを旅行会社等の要請に応じて紹介する。

- ・観光ガイドを行っている団体・個人の活動概要等について、しまね観光ナビで紹介
- ・「NPO法人出雲神話語り部の会」のガイドを、旅行会社主催のツアーで紹介

(2) 食を活用した観光促進事業 2,500千円(2,500千円)

島根の食資源を活かした食の魅力づくりと情報発信、誘客活動を行う。また、付加価値の高いメニュー開発等に取り組む。

- ・「石見の神楽めし」、「ご島地グルメ」の開発、PR支援
- ・食材、メニュー写真の保存・提供

(3) 着地型旅行商品支援事業 1,000千円(1,000千円)

地域の魅力を活かした着地型旅行商品の拡充に向け、積極的に現場に入り、地元観光協会や観光事業者と連携し着地型旅行商品の造成と販売の支援を行う。

- ・着地型観光に精通した講師による研修会の開催
- ・県外の旅行会社による視察を行って着地型観光商品を検証
- ・「美肌県」など島根のブランドイメージを向上させる商品の造成支援

4 人材育成事業

観光産業や観光振興を担う人材育成を目的とした研修を実施する。

(1) 研修事業 1,000千円(1,000千円)

観光関連産業や観光協会に従事する職員等を対象とした研修を実施する。

5 情報収集・提供事業

連盟事業の参考とするため、会員・観光関係事業者等との情報交換・意見交換を行う。

(1) 部会・ブロック会議開催事業 500千円(500千円)

民間会員や市町村・観光協会等との意見交換会を開催する。

- ・市町村及び観光協会との意見・情報交換会
- ・民間事業者を交えたブロック毎の意見交換会

(2) 情報提供事業 500千円(100千円)

会員等へ観光連盟の事業活動等についての情報提供を行う。また、観光マーケットの動向について分析し、会員等へ情報提供を行う。

- ・島根県観光連盟メールマガジン「島観連つうしん」を配信
- ・観光予報プラットフォーム等を活用した分析

- ・島根県内の特定エリアを対象としたマーケティング調査

6 県受託事業

「しまね観光ナビ」運営事業 6,716千円（7,216千円）

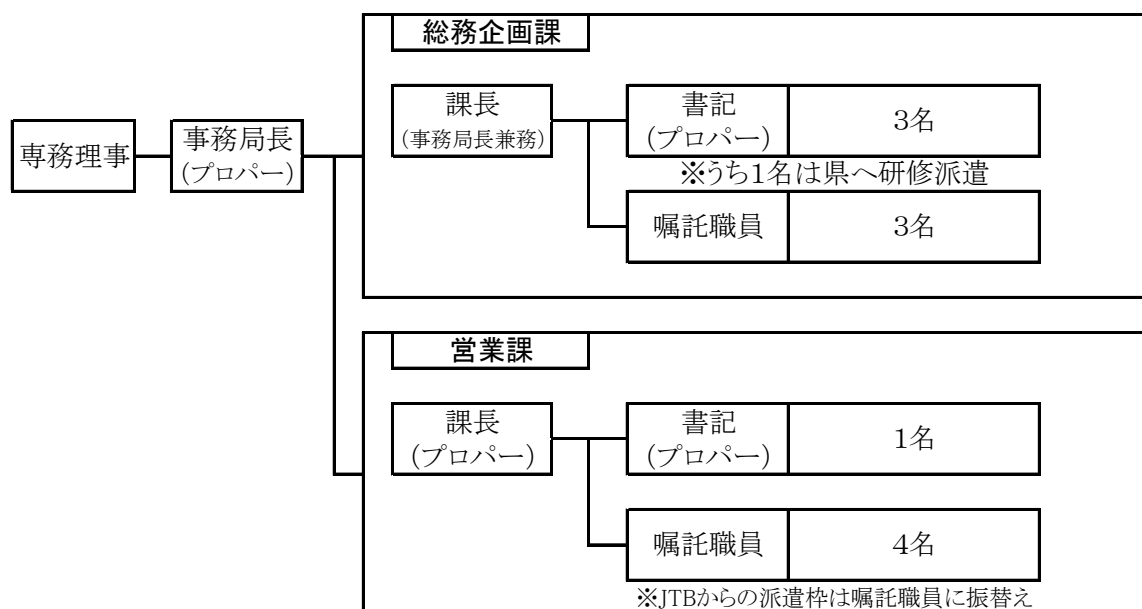
島根県観光情報ホームページ「しまね観光ナビ」の管理運営業務を行う。

- ・特集ページ製作、キャンペーン・イベント情報などの発信
- ・見やすく、よりタイムリーに情報発信をしていくためのシステム改修

7 その他

(1) 事務局体制

県、及び山陰インバウンド機構等との役割分担のもと、近い将来にインバウンド事業を観光連盟で実施することを視野に入れ、正規職員1名を引き続き島根県観光振興課国際観光グループへ出向（研修派遣）させる。



(2) 自主財源の確保

自主財源の増加を図るため、以下の事を実施する。

- ・観光振興に資するための寄付型自動販売機の設置を進め、寄付金収入の増加をめざす。
- ・ゆるキャライベントに出店した際に、「しまねっこ」グッズの販売等を付随的に行う。
- ・新規会員の勧誘に努める。

